

|   |   |     |      |         |                      |       |                              |
|---|---|-----|------|---------|----------------------|-------|------------------------------|
| 授業科目(ナンバリング)  | 精神保健福祉の理論と<br>相談援助の展開 I A(DA317)<br>(実践的教育科目)                                   |     |      | 担当教員    | 齊藤 晋治<br>(実務経験のある教員) |       |                              |
| 展開方法  | 講義  | 単位数 | 2 単位 | 開講年次・時期 | 3 年・前期               | 必修・選択 | 選択                           |
| 授業のねらい  |   |     |      |         |                      |       | アクティ<br>ブ・<br>ラーニング<br>の 類 型 |
| この授業の目的は、精神科リハビリテーションにおける基本的枠組み、構成、プロセスと展開を学び、精神障害者が地域で主体的に生活するための具体的実践の方法を知り行うことができるようになることにある。また、ディプロマポリシーにある社会の課題に対する思考力、判断力、表現力を活用し、主体的に問題解決を行う力を養成するために、授業は、ディスカッションやグループワーク、プレゼンテーションによって展開する。そのなかで、学生が精神科ソーシャルワークの知識・技術を、自分の言葉で説明し、他者が理解できる表現の仕方について、具体的に学ぶことも重視する。  |   |     |      |         |                      |       | ①⑤<br>⑥⑩                     |
| ホスピタリティ<br>を構成する能力  | 学生の授業における到達目標   |     |      |         | 評価手段・方法              |       | 評価比率                         |
| 専門力   | 精神科リハビリテーションに関する用語の内容を正確に説明することができる。  |     |      |         | 定期試験<br>予習復習の実施状況    |       | 60%<br>15%                   |
| 情報収集、<br>分析力  |   |     |      |         |                      |       |                              |
| コミュニケーション力  | 授業内で自分の意見を適切に伝えることができる。   |     |      |         | ディスカッション内容           |       | 5%                           |
| 協働・課題解決力  | 精神科リハビリテーションサービスの実施機関・施設と関連事業について、グループで報告することができる。                              |     |      |         | グループ発表               |       | 10%                          |
| 多様性理解力  | リカバリー等の精神科リハビリテーションにおける重要概念を正確に説明することができる。<br>精神科リハビリテーションの構成について正確に説明することができる。 |     |      |         | 定期試験                 |       | 10%                          |
| 出 席   |   |     |      |         | 受験要件                 |       |                              |
| 合 計   |   |     |      |         | 100%                 |       |                              |
| 評価基準及び評価手段・方法の補足説明  |   |     |      |         |                      |       |                              |
| 定期試験（60%）では、精神科リハビリテーションに関する用語の内容を正確に説明することができるかを評価する。精神科リハビリテーションの構成やプロセス等の理論を正確に理解できているかを評価する。さらに、精神科リハビリテーションに関するサービスについてのグループ発表 10%、予習復習の実施状況 15%、ディスカッション内容 5%で評価する。すべての提出物は、次回の授業内およびポートフォリオにてフィードバックを行う。   |   |     |      |         |                      |       |                              |
| 授 業 の 概 要   |   |     |      |         |                      |       |                              |
| 精神科リハビリテーションにおける基本的枠組み、構成、プロセスと展開などについて概説する。授業では、ディスカッションやグループワークを活用しながら、授業内容の理解を深める。担当教員は、精神保健福祉士として精神科病院でカウンセリングや医療相談、ソーシャルワーク等で、精神科リハビリテーションの実務経験があり、その経験に基づき授業を展開する。また、厚生労働省が定める「精神保健福祉士養成施設等の設置及び運営に係る指針」において、実務経験を有する教員に関して「精神保健福祉士の資格を取得した後、相談援助の業務に5年以上従事した経験を有する者」と規定されており、担当教員は該当する。<br>この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、180分とする。 |   |     |      |         |                      |       |                              |
| 教 科 書 ・ 参 考 書   |   |     |      |         |                      |       |                              |
| 教科書：新・精神保健福祉士養成講座4 精神保健福祉の理論と相談援助の展開 I（第2版）中央法規出版<br>参考書：精神保健福祉士養成セミナー編集委員会「精神保健福祉の理論と相談援助の展開 II（第6版）」へるす出版<br>指定図書：図説リカバリー医療保健福祉のキーワード 野中猛 中法法規出版  |   |     |      |         |                      |       |                              |
| 授業外における学修及び学生に期待すること  |   |     |      |         |                      |       |                              |
| ① 授業内で、次回までの予習・復習を提示する。指定された内容を実施してくること。<br>② 出席は最低限のルールとする。<br>③ 授業内での居眠りや私語、携帯電話の無断使用などは厳禁とする。  |   |     |      |         |                      |       |                              |

| 回  | テーマ                          | 授業の内容  | 予習・復習  |
|----|------------------------------|--|--|
| 1  | オリエンテーション<br>精神保健医療福祉の歴史と動向① | 授業の概要、進め方、評価等の確認                                   | 予習：テキスト1-14を読んでくる。<br>復習：授業の内容をまとめ、ポートフォリオにて提出する。    |
| 2  | 精神保健医療福祉の歴史と動向②              | 精神科リハビリテーションの歴史や概念（ノーマライゼーション、自立生活の思想など）について説明する。  | 予習：テキスト15-25を読んでくる。<br>復習：授業の内容をまとめ、ポートフォリオにて提出する。   |
| 3  | 精神保健医療福祉の歴史と動向③              | 諸外国の精神保健医療福祉制度の変遷について説明する。                         | 予習：テキスト26-58を読んでくる。<br>復習：授業の内容をまとめ、ポートフォリオにて提出する。   |
| 4  | 精神障害者に対する支援の基本的な考え方と必要な知識①   | 精神保健福祉士における活動の歴史を説明する。                             | 予習：テキスト60-70を読んでくる。<br>復習：授業の内容をまとめ、ポートフォリオにて提出する。   |
| 5  | 精神障害者に対する支援の基本的な考え方と必要な知識②   | 精神障害者支援の理念を説明する。<br>第1回レポート課題を提示する。                | 予習：テキスト71-82を読んでくる。<br>復習：授業の内容をまとめ、ポートフォリオにて提出する。   |
| 6  | 精神障害者に対する支援の基本的な考え方と必要な知識③   | 精神保健医療福祉領域における支援対象について整理する。                        | 予習：テキスト83-93を読んでくる。<br>復習：授業の内容をまとめ、ポートフォリオにて提出する。   |
| 7  | 精神障害者に対する支援の基本的な考え方と必要な知識④   | 精神障害者の人権について整理する。                                  | 予習：テキスト94-104を読んでくる。<br>復習：授業の内容をまとめ、ポートフォリオにて提出する。  |
| 8  | 精神科リハビリテーションの概念と構成①          | 精神科リハビリテーションの概念について説明する。                           | 予習：テキスト106-113を読んでくる。<br>復習：授業の内容をまとめ、ポートフォリオにて提出する。 |
| 9  | 精神科リハビリテーションの概念と構成②          | 精神科リハビリテーションの理念・意義・基本原則について整理する。                   | 予習：テキスト114-121を読んでくる。<br>復習：授業の内容をまとめ、ポートフォリオにて提出する。 |
| 10 | 精神科リハビリテーションの概念と構成③          | 精神科リハビリテーションの対象、精神科リハビリテーションにおける精神保健福祉士の役割について理解する | 予習：テキスト122-130を読んでくる。<br>復習：授業の内容をまとめ、ポートフォリオにて提出する。 |
| 11 | 精神科リハビリテーションの概念と構成④          | 精神科リハビリテーションにかかわる専門職等との連携、施設、関係機関について整理する。         | 予習：テキスト131-155を読んでくる。<br>復習：授業の内容をまとめ、ポートフォリオにて提出する。 |
| 12 | 精神科リハビリテーションのプロセス①           | リハビリテーションのプロセスについて説明する。                            | 予習：テキスト158-169を読んでくる。<br>復習：授業の内容をまとめ、ポートフォリオにて提出する。 |
| 13 | 精神科リハビリテーションのプロセス②           | アプローチの方法について説明する。                                  | 予習：テキスト170-181を読んでくる。<br>復習：授業の内容をまとめ、ポートフォリオにて提出する。 |
| 14 | 精神科リハビリテーションのプロセス③           | 疾病の経過、ライフサイクルと精神科リハビリテーションについて整理する。                | 予習：テキスト182-186を読んでくる。<br>復習：授業の内容をまとめ、ポートフォリオにて提出する。 |
| 15 | まとめ                          | 前期の振り返り  | 予習：テキストの後期分を読み返す。<br>復習：授業の内容をまとめ、ポートフォリオにて提出する。     |
| 16 | 定期試験                         |  |  |